

総会のご報告

2007年(平成19年)5月19日(土) 午後1時30分から大宮ソニックシティビル803号室にて、第3期通常総会が開かれました。《来賓からの祝辞・賛助金の贈呈》会長挨拶の後、埼玉県環境部資源循環推進課、副課長 土屋雅子様からご祝辞をいただき、また、(社)日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会副会長 齊藤良徳様よりご祝辞と寄付金の贈呈がありました。



埼玉県環境部資源循環推進課、副課長 土屋雅子様



(社)日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会副会長 齊藤良徳様とエコ・リサの高木会長

《総会成立状況》会員総数 140(4/1 現在)、出席数 86(本人出席 22、委任状 64) の定足数を満たして成立しました。第1号議案から第8号議案までの決議が行われました。議事内容を抜粋し掲載します。

第1号議案 2006年度(2006年4月1日から2007年3月31日まで)事業報告書承認の件

議長は上記議案を上程し、事業報告書の内容につき概要を専務理事宮田尚美が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

第2号議案 2006年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

議長は上記議案を上程し、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の内容につき概要を理事高橋茂仁が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

第3号議案 2007年度役員選任の件

議長は上記議案を上程し、理事及び監事の全員が平成17年5月31日をもって任期が満了するので、改めて理事12名及び監事2名の選任を継続したい旨述べ、原案の下記理事12名及び監事2名の候補者につき議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決し、選任された理事及び監事は、その場で、就任を承諾した。

会 長 高木康夫

副会長 石川恵輪 高橋茂仁(会計担当) 土淵 昭 園田真見子

事務局 宮田尚美(専務理事・事務局長) 原田 史(事務局次長) 大前万寿美

理 事 上領 園子 神山 憲秀 中澤 啓子 清水 守

監 事 島田 憲一 平田 繁

第4号議案 2007年度(2007年4月1日から2008年3月31日まで)事業計画承認の件

議長は上記議案を上程し、2007年度事業計画の概要を専務理事宮田尚美が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

続いて午後3時からテーマ「地球温暖化をテーマに私たちにもできる事例報告：手軽につ

くれる緑のカーテン」講師：本橋亮一氏(さやま環境市民ネットワーク)による記念講演を行いました。

地球温暖化をテーマに私たちにもできる事例 ～手軽につくれる緑のカーテン～

さやま環境市民ネットワーク 本橋亮一氏

岩手県の海と山に囲まれた地方で、米までは作りませんでした。とうもろこしなど野菜は自給自足、鶏の卵や肉はもちろん鶏糞も肥料にしていた暮らしの経験を活かして、現在都会の小さい庭で数種類のゴーヤやあけびを育てています。

ゴーヤは、暑い地方の植物なので20℃を越えたころ、埼玉では5/10ごろ本葉が2～3枚出たものを植え付け、つるを片付けるのは葉が少し黄色くなっても10月に入ってからの方が、温暖化防止効果の点ではよいようです。



ゴーヤは、あおゴーヤ・しろゴーヤとの2苗で4から5メートル幅の緑のカーテンを仕立てます。成長力が非常に強いので、常に屋根にかかる芽を切って方向などを調整することで、下のほうのわき芽を増やし、黄色くなるのを防ぎます。7～8月に早めに実を取りながらであれば、2株から100個程度の実が採取でき、生命力の強い朝顔を混ぜて植えると花も楽しめます。

ゴーヤの良い点は、日照りによる室温上昇の抑制(日陰になる部分は4度くらい涼しい) さわやかな風 上品な香り 蝶・蜜蜂などの昆虫が身近に感じられる 取れたての味が楽しめる。悪い点は、部屋が暗くなる。今後の課題として、台風対策やプランターでの栽培方法、肥料の与え方、水やりの頻度など、さまざまな事例を集め、緑のカーテン効果を考えていきたいと思えます。

次に、あけびには3種があり、大きなピンクの花を咲かせるあけび・紫色の果皮果肉とも美味しい三つ葉あけび・あけびと三つ葉あけびの雑種である五葉あけびを棚作りに仕立てる。霜が降りるころに落葉し、屋根などに上がってしまわないよう剪定を行えば、つるは冬の日差しをさえぎるほどではありません。自分の花粉では受精しにくいので、あけびの仲間のむべ(ときわあけび:冬に落葉しない)を庭に植えておくほうがよいでしょう。

あけびの良い点は、夏全開、冬全開のカーテン 香りが良い 新芽のてんぷら・果皮の厚めの衣をつけたもちもちしたてんぷら・肉詰めの焼きものなど、珍しい食感が楽しめる。悪い点は、春はあぶらむし、秋は芋虫などの虫がつくこと(防虫スプレーで出始めに駆除してしまう) 今後の課題として、苗の入手方法の確立(挿し木・接木・実生からの苗・山林があれば自生した幼木を採取) おいしい実をとるための施肥の種類・方法など

栽培のためのネットや棒は、近くの園芸センターでいろいろなサイズのものが入手できます。ネットの張りを保つために下の部分に棒を通したり、アンカーで固定しておくのが良いと思います。

仕立て方の詳しい写真などは、エコ・リサが埼玉県から運営を委託されているホームページ『彩の国リサイクルデータバンク』緑のカーテンのページをぜひご覧ください。

<http://www.fuyo-hin.com>